

平成30年度 教育改革講演会

3つのポリシーと学修成果の可視化について

日時

平成30年12月5日（水）
合同教授会終了後（約60分）

場所

中央キャンパス 文学2号館 L2-11教室

場所が変更になりましたのでご注意ください

2008年に中教審より「学士課程教育の構築に向け（答申）」が示され、学生による学修の成果を重視する観点から、各大学は教育研究上の目的を明確化し、その実行と目標の達成に向けて教育活動を展開していくことが求められました。

答申から10年が経過し、現在、中教審制度・教育改革WGでは、3つのポリシーに基づく大学教育の質向上に向けたPDCAサイクルを適切に機能させるためには、学生の学修成果に関する情報を的確に把握・測定し（すなわち可視化し）、その情報を、各大学が取り組むべき目標の設定、目標と現状のギャップの測定、目標の到達に向けた既存のカリキュラムや教育手法の見直し等に適切に活用することが必要であることを言及しています。

教育の質を保証するためには、卒業までに学生がどのような能力を身につけたのか、学修成果を適切に把握することが重要であり、量的な成果から質的な成果をどのように可視化するかが必要となります。

本学においても学修成果の可視化についての議論が始まっていることから、今回は大阪府立大学畑野先生より、学修成果の可視化に関する全体像について学ぶ機会を設けました。先生方だけではなく、職員の皆さんもぜひご参加ください。事前申し込みは不要です。



畑野 快 氏

大阪府立大学
高等教育開発センター 准教授

● 講師プロフィール

2014年大阪府立大学高等教育開発センター
特任助教、2017年より准教授。

主に青年心理学（アイデンティティ形成）、
大学教育学（大学生の主体的な学習態度）
学修成果の可視化に関する研究に従事。

研究テーマ

- ◆ 大学生の主体的な学習態度の形成と促進に関する実証的研究
- ◆ 生涯発達におけるアイデンティティ発達と心理的健康のダイナミクス

日本青年心理学会 編集委員
日本青年心理学会 国際交流委員
日本教育心理学会 常任編集委員
日本パーソナリティ心理学会 編集委員

主催：武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部 FD推進委員会
協賛：武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部 SD推進委員会

本件の問い合わせ先：教育開発支援室（内線6410～6412）